

2 「ムタコの日」の開催

(1) 「ムタコの日」について

ムタコ沢は地域の水源地として、地域住民の飲み水等で広く利用されてきました。しかし、1980年代に大規模なスキー場を造成するリゾート開発計画が始まり、今まで使われてきた水源地の水が汚れるため、水源地をムタコ沢本流から支流に移動しました。

その後、リゾート開発計画が中止となり、再び水量の多い本流に水源地を戻したいという地元からの要望があります。

以上のような経緯から、「ムタコの日」は赤谷プロジェクト地域協議会が主催し、地元の人に生活用水の水源地を知ってもらい、その水源地を育てている森の様子や仕組みを学んでもらい、住民の手で水源地の森を守っていくことを目的に、様々な行事を行っています。

今年度は、新たに水生昆虫観察会を加え、水に生息する昆虫についても学ぶことにしました。さらに水の濁りや透水性を調べる「緑のダム実験と濁度調査」も実施しました。

赤谷センターもこの「ムタコの日」を支援するため、カラマツ林での森林再生講座を中心に、準備段階から協力しながら活動しています。これからも、このような機会を活用した環境教育などの取組みにより、地域の森林環境の保全を進めていきます。

(2) 実行内容

① 「ムタコの日」森林再生講座（8月2日開催）

間伐体験による森林の水源かん養機能増大について実習しました。



間伐体験



丸太切り体験

② 「ムタコの日」水生昆虫観察会（9月13日開催）

上流の国有林ムタコ沢と下流の西川の2箇所で開催しました。

水生昆虫を実際に網ですくって調べる体験を通じて、水と森の重要性を考えました。



水生昆虫採集

③緑のダム実験と濁度調査（6月14日、8月16日、10月25日実施）

濁度計と簡易道具を使用して、自然林、スギ林、カラマツ林の3箇所で行いました。



緑のダム実験（透水時間計測中）



濁度計で測定中